〔紹介〕

新聞報道からみる良子（ながこ）女王来豊記

―「愛知大学公館　特別展」に寄せて―

東亜同文書院大学記念センター事務室　森　健一

2012 年を迎え、愛知大学公館はちょうど築 100 年となった。そこで、東亜同文書院大学記念センターでは愛知大学公館にまつわる特別展を開催したが、そのときに第 15 師団長の第 7 代目として着任された久邇宮邦彦王の第1王女である久邇宮良子女王の豊橋での行方について話題になった。ちなみに、良子女王は後に香淳皇后として昭和天皇の皇后になられた方である。その良子女王については、久邇宮邦彦王の着任中に豊橋の学校に通われたとか、これまで様々な情報が出ているが[1]、どれも確証に乏しく、特別展を企画した際の展示パネル等の資料でも「少女時代の一時期生活されました」との紹介に留めていた。

しかし、良子女王が昭和天皇である東宮裕仁殿下の御妃に内定されたときは、ちょうど父上の久邇宮邦彦王が第 15 師団長として豊橋に滞在した時期と重なっており、当時の豊橋としても御内定の出来事は大きなニュースとして取り上げられ、紹介されたはずである。そこで、当時の新聞が良子女王に関する出来事をどう伝えたかに関心をもち、あわせてそれらをまとめることで良子女王の豊橋での滞在期間や行き先について、ある程度特定できるのではないかと考え、当時豊橋で発刊していた新聞から調査を試みることにした。

なお、調査時期については、久邇宮邦彦王が着任された期間（1917 年 8 月から 1918 年 8 月末）とし、調査対象である新聞は豊橋市図書館がマイクロフィルムにて収蔵している新聞一覧[2]を参照した結果、「豊橋日日新聞」、「新愛知及び附録三遠日報」、「新朝報」、「参陽新報」が該当の期間発刊されていることが分かった。

そこで、この期間に報道されたすべての記事を確認し、良子女王に関する報道について、その結果をまとめたのでここに紹介する。



東宮妃御内定報道の際、記事とともに掲載された良子女王御幼時の写真（一九一八年一月十九日付　新愛知）

1　例えば
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%84%9B%E7%9F%A5%E7%9C%8C%E7%AB%8B%E8%B1%8A%E6%A9%8B%E6%9D%B1%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1
http://www.asahi-e.toyohashi.ed.jp/gaiyou/gaiyou.html

2　「マイクロフィルムで見る新聞一覧(PDF)」
http://www.library.toyohashi.aichi.jp/gaiyou/shinbunzasshi/maikurofirumudemirusinbunitiran.pdf（豊橋市図書館 HP より）

良子女王に関する各紙報道一覧

【凡例】①表中の各タイトルはそのまま新聞の見出しとなっており、表記も当時の字体とした。
②表作成にあたり、調査期間は父上である久邇宮邦彦王が豊橋に滞在した期間の1917年8月から1918年8月末とした。

1917年	豊橋日日新聞	新愛知及び附録・三遠日報	新朝報	参陽新報
12月22日	**●三女王御來豊 明二十三日午後** 良子、信子、智子の3女王殿下、学習院の年末御休暇を利用して23日午前8時半東京駅発の列車にて御来豊。28日邦彦王の歳末休暇まで同地に滞在し、同日両親と共に東京に向われる。今回三女王殿下は父宮が師団長に栄転後初めての来豊となる。		**●久邇宮姫宮 三女王殿下御來豊** 良子、信子、智子3女王殿下、学習院の年末御休暇を利用して23日午後2時50分御来豊。29日邦彦王の歳末休暇まで同地に滞在し、同日両親と共に東京に向われる。今回三女王殿下は父宮が師団長に栄転後初めての御成り。	**●三女王殿下 打連れまして御對顔** 良子、信子、智子の3女王殿下、学習院の年末御休暇を利用して23日午前8時半東京駅発。29日邦彦王の歳末休暇まで同地に滞在し、同日両親と共に東京に向われる。今回三女王殿下は父宮が師団長に栄転後初めてとなる。
12月24日	**●三姫宮御來豊 昨日午後2時50分** 良子、信子、智子3女王殿下が予定通り2時50分豊橋着。高師村小池の御殿へ入られ御父君と御対面。			
12月25日		**●三姫宮御來豊** 良子、信子、智子列車にて23日午後2時50分豊橋着、高師村小池の御殿へ入られ御父君と御対面。		**●三女王殿下 高師御殿へ成らせらる** 23日午後2時50分豊橋駅着列車にて来豊された、良子、信子、智子殿下はご機嫌麗しく高師御殿へ成らせられる。
12月26日	**●久邇宮御歸京** 28日午後9時23分豊橋発列車にて殿下、妃殿下並びに3姫揃って帰京。なお翌年1月7日頃邦彦王殿下は帰団される予定。	**●久邇宮御上京** 28日午後9時23分豊橋発列車にて殿下、妃殿下並びに3姫揃って上京する予定。		
1918年				
1月5日		**●新年の久邇宮** 上京中の殿下一家、新年宴会其他儀式に参列される。		
1月16日	**●兩殿下御上京** 両殿下、16日午後2時4分発豊橋発上り最大急行列車にて御上京される予定。	**●兩殿下御上京** 両殿下、16日午後2時4分発豊橋発上り最大急行列車にて御上京される予定。	**●宮殿下御歸京** 両殿下、16日午後2時4分発豊橋発上り最大急行列車にて御上京される予定。	**●兩殿下御上京** 両殿下、16日午後2時4分発豊橋発列車にて御東上される。
1月17日		**●宮殿下御上京** 既報の如く16日に両殿下が御上京された。		
1月19日	**●東宮妃御内定** 良子殿下が東宮裕仁殿下の御妃に御内定。	**●東宮御妃御内定** 良子殿下が東宮裕仁殿下の御妃に御内定。なお、内定にあたり、波多野宮内大臣は14日豊橋の殿下の官舎に参候し、邦彦王同妃倪子両殿下に拝謁。15日朝沼津御用邸に伺候、東宮殿下に拝謁。久邇宮両殿下は16日急遽帰京18日午後2時御参内両陛下に御対面の上御内約の御礼を言上される。	**●久邇宮御参内** 良子殿下が東宮裕仁殿下の御妃に御内定。内定にあたって波多野宮内大臣は14日豊橋の殿下の官舎に参候し、邦彦王同妃倪子両殿下に拝謁。15日朝沼津御用邸に伺候、東宮殿下に拝謁。久邇宮両殿下は16日急遽帰京18日午後2時御参内両陛下に御対面の上御内約の御礼を言上遊ばる。	**●東宮妃殿下御内定** 良子殿下が東宮裕仁殿下の御妃に御内定。内定にあたり、波多野宮内大臣は14日豊橋の殿下の官舎に参候し、邦彦王同妃倪子両殿下に拝謁。15日朝沼津御用邸に伺候、東宮殿下に拝謁。久邇宮両殿下は16日急遽帰京18日午後2時御参内両陛下に御対面の上御内約の御礼を言上遊ばる。
1月20日	**●良子女王殿下** 東宮妃に内定された良子女王および久邇宮家御系譜の紹介。	**●皇室典範最初の御儀** 御内約御確定後の御儀式の日程を掲載。	**●御冊立に御治定の 東宮妃良子殿下** 今後の良子女王殿下は学習院を退学後、御自邸か若しくは適当の場所に御教育場を設け特別御教育を予定。また御内定後の儀式の日程を紹介。	**●冊立に御内定の 東宮妃良子女王殿下** 東宮妃に内定された良子女王および久邇宮家御系譜の紹介。
1月21日	**●御婚儀 皇室親族令に則らせらる** 御内定後の儀式の日程を掲載。 **●兩殿下御歸豊** 良子女王殿下東宮妃内定に就き上京中だったが20日午後2時50分豊橋着。			

1918年	豊橋日日新聞	新愛知及び附録・三遠日報	新朝報	参陽新報
1月22日		**●兩殿下御歸還** 良子女王殿下東宮妃内定に就き上京中だったが20日午後2時50分豊橋着。		
1月23日	**●久邇宮家（一）** 良子女王殿下の特集連載記事（第1回）		**●耀ふ久邇御姫宮（一）** 良子女王殿下の特集連載記事（第1回）	
1月24日	**●久邇宮家（二）** 良子女王殿下の特集連載記事（第2回）		**●耀ふ久邇御姫宮（二）** 良子女王殿下の特集連載記事（第2回）	
1月25日	**●久邇宮家（三）** 良子女王殿下の特集連載記事（第3回）		**●耀ふ久邇御姫宮（三）** 良子女王殿下の特集連載記事（第3回）	
1月26日	**●久邇宮家（四）** 良子女王殿下の特集連載記事（第4回）		**●耀ふ久邇御姫宮（四）** 良子女王殿下の特集連載記事（第4回）	
1月27日	**●久邇宮家（五）** 良子女王殿下の特集連載記事（第5回）		**●耀ふ久邇御姫宮（五）** 良子女王殿下の特集連載記事（第5回）	
2月8日			**●良子女王殿下の爲に大正の春日局を婦徳修養の補導に人選** 良子女王の側に居て御用を奉仕する侍女2名の人選が目下選考中。	
3月2日				**●妃殿下豊橋** 久邇宮倪子殿下には良子女王殿下御同伴今1日午前8時東京駅発列車にて王殿下任地豊橋に成らせられたり。
3月3日	**●良子女王御來豊** 皇太子妃殿下に御内定遊ばれたる久邇宮良子女王殿下には1日午後2時50分豊橋駅着にて御来豊、直に高師福岡假御殿へ成らせられたり。			**●良子女王御來豊** 皇太子妃殿下に御内定成相りたる久邇宮良子女王殿下には1日午後2時50分豊橋駅着にて御来豊遊ばされ直ちに師団長官舎に入らせられたり。
3月5日			**●第十五回の御誕辰を迎へ給ふ良子女王殿下** 3月6日で第15回目の御誕辰を迎え、また東宮妃と御内定ありて新殿を目下新築中。	
3月18日	**●師團長宮殿下 長篠古戦場お成り** 久邇第15師団長宮殿下は倪子妃殿下良子女王殿下御同伴昨日午前9時18分吉田駅発列車にて南設楽郡長篠に向かい長篠古戦場を視察。	**●久邇宮殿下 長篠古戦場へお成** 17日邦彦王殿下、倪子妃殿下、ならびに良子女王殿下御同伴で、午前9時17分吉田駅発豊川線列車にて長篠駅下車、長篠古戦場視察、午後3時38分長篠駅発列車にて御帰還。	**●長篠古戦場御視察 久邇宮殿下** 17日邦彦王殿下、倪子妃殿下、良子女王殿下御同伴で、午前9時18分吉田駅発豊川線列車にて長篠駅下車、長篠古戦場視察、午後3時48分長篠駅発列車にて吉田駅着、御帰邸される。	
3月19日				**●久邇宮殿下御視察 古城址と砲工廠** 邦彦王殿下、倪子妃殿下、良子女王殿下は17日午前9時12分吉田駅発豊川線列車にて長篠駅下車、古戦場を視察し、午後4時御帰邸。18日、邦彦王殿下は熱田駅に御成熱用兵器廠を御視察。
3月21日		**●離宮と煙草專賣支局へ** 邦彦王殿下、倪子妃殿下、良子女王殿下御同伴で、21日午前9時7分豊橋駅発11時4分名古屋駅着　名古屋離宮を拝観。その後中区古渡町名古屋煙草専売支局で約1時間に亘って各工場を観覧。4時5分名古屋発列車で帰豊。		

1918年	豊橋日日新聞	新愛知及び付録・三遠日報	新朝報	参陽新報
3月23日	**●東宮妃たる良子女王御見學** 久邇宮同妃両殿下は良子女王殿下の見聞を広め目下情に通ぜしめんために良子殿下を同伴し、21日名古屋煙草専売支局を見学。		**●良子女王専賣局御成** 21日殿下、倪子妃殿下、良子女王殿下御同伴で、名古屋煙草専売支局を観覧。4時17分名古屋発列車で帰豊。	
3月29日	**●御入内迄の良子女王** 良子女王の今後の修学のためその専門家の選考中であり、また目下父宮殿下の御任地である豊橋の高師假御殿に滞在中だが来月早々に御帰京されることを報道。		**●御入内迄の良子女王** 近侍の婦人選考中。来月早々に御帰京。	**●久邇宮良子女王殿下** 良子女王殿下は目下父宮殿下の御任地なる豊橋に成らせられ学習院を本年1月限り御退学され来月4，5日頃帰京。今後の御入内迄に御坤徳を大成さる可く學徳兼備の近侍婦人の専門家の選定を選定中。
4月2日	**●二王子御來豊** 久邇宮第二王子朝融王、第三王子邦英王が1日午後2時50分御來豊。4日に帰京する予定だが、その時に妃殿下、良子王女も帰京される。	**●久邇宮家御動静** 倪子妃殿下は4日午前、在豊中の良子女王殿下を伴い御上京予定。	**●両若宮御來豊** 朝融王、邦英王が1日御來豊。4日に帰京する際、妃殿下、良子王女、両若宮同伴して帰京される。	
4月3日	**●三殿下御上京** 久邇第15師団長宮、同妃倪子殿下並びに在豊中の良子女王殿下を伴い、4日午前9時7分御帰郷される。朝融王、邦英王両殿下は同日午前9時8分発列車にて京都へ向われる。			
4月5日				**●宮殿下御上京** 第15師団長久邇宮殿下は7日より陸軍省において師団長会議開催のため、妃殿下及び良子女王を同伴し4日午前9時7分御上京される。妃殿下、良子女王は麹町の御本邸へ。
4月6日		**●良子女王御歸京** 豊橋に滞在中だった良子女王は愈々将来東宮妃殿下としての修学のため4日夜6時50分東京駅着列車にて御帰京。	**●良子女王御歸京** 御邸内にて授業が始まるにあたり御帰京される。	**●歸京された良子女王殿下** 先月1日から良子殿下は御両親と高師御殿に居られたが5日から授業が始まるにあたって帰京された。新築の御学問所開始に就いて。嘱託教師も侍女も近日仰付く。
4月15日	**●久邇宮新御殿工費五十万圓** 新築中なる御本邸は日本館800坪洋館200坪にして其の工費は約五十万圓。竣工期は明春。	**●良子女王殿下御教育掛** 教育掛として東京女子高等師範学校教授正五位勲六等後閑菊野女史に辞令交付。		
4月16日	**●良子女王殿下御教育掛拝命** 教育掛として東京女子高等師範学校教授正五位勲六等後閑菊野女史に辞令交付。		**●良子女王殿下御用育掛に抜擢されし菊野女史** 御邸内御学問所において御教育担任者として東京女子高等師範学校教授正五位勲六等後閑菊野女史に辞令交付。	**●良子女王の奉仕者** 東京女子高等師範学校教授正五位勲六等後閑菊野女史が宮内省御用掛となり久邇宮勤務となる。
4月20日			**●御質素を旨として良子女** 4月25、26日頃良子女王の学問所が愈々開所される。	
5月1日			**●良子女王御日課** 良子女王の日課を報道。	
5月4日			**●良子女王殿下に奉仕する** お茶の水女子高の竹田道子女史が教育係として選ばれる。	**●良子女王殿下に奉仕する** お茶の水女子高の竹田道子女史が教育係として選ばれる。
5月12日		**●良子女王殿下の御補導役十日五氏決定** 良子女王殿下の御学問の御指導役決定。		
5月13日	**●良子女王に皇后學御教授** 良子女王の教育係として既報の後閑氏の他、6氏が決定される。		**●良子女王殿下　御教育掛** 良子女王の教育係として既報の後閑氏、竹田氏の他、5氏が決定される。	

1918年	豊橋日日新聞	新愛知及び付録・三遠日報	新朝報	参陽新報
5月14日				●良子女王御教育掛それぞれ任命あり 良子女王の教育係として既報の後閑氏、竹田氏の他、5氏が決定される。
5月15日	●未来の皇后宮 良子女王に修身教育 良子女王の教育主任者については既報の他、東宮御学問所御用掛として杉浦重剛翁を新教育掛として任命。なお、杉浦重剛氏は現に東宮御学問所勅任御用係として帝王学御進講中なるにより妃殿下たるべき良子女王殿下に対し奉り修身の御講話を申し上げるは真に適材を適所に挙げたるものにして最も人選に当を得たるものであると。			
5月18日			●良子女王の奉仕者 名誉の両女史 良子女王殿下側近奉仕の御用取扱として、学習院助教授 三輪もと子、田中とし子の両氏が決定される。	●良子女王の奉仕者 名誉なる両女史 良子女王殿下側近奉仕の御用取扱として、学習院助教授 三輪もと子、田中とし子の両氏が決定される。
5月22日			●女王御掛任命 良子女王殿下の体操御掛りとして東京府立第1高等女学校教諭土取信子女史を任命。	
6月7日			●良子女王御學友 良子女王の学友として、平山信子(内大臣府御用掛平山成信氏5女)、佐藤貞子(陸軍軍医総監医学博士佐藤進男令孫)が選ばれる。	●久邇宮良子女王の 御學友決定す 良子女王の学友として、平山信子(内大臣府御用掛平山成信氏5女)、佐藤貞子(陸軍軍医総監医学博士佐藤進男令孫)が選ばれ、6日より良子女王のお相手として宮家に伺候せし。
6月8日		●良子女王殿下の御学友 平山成信氏令嬢信子様と佐藤進男令孫貞子様の写真が掲載される。		
7月21日			●良子女王殿下鎌倉に御避暑来る二十日頃から 避暑のため22日頃鎌倉今小路御用邸に成らせられ約1週間滞在の予定。	
7月26日			●良子女王のお守り刀 七寸五分の短刀 良子女王殿下に新たに守り刀が打たしめられる。	

この 4 紙による新聞報道から、良子女王の来豊について、以下 2 つの時期に滞在されていたことが読み取れた。

1. **1917 年 12 月 23 日から 28 日にかけて、良子女王は信子様、智子様と一緒に学習院の年末御休暇を利用して来豊し滞在された。そして、28 日からの邦彦王の歳末休暇に合わせ同日両親と共に東京に帰られたこと。**
2. **1918 年 3 月 1 日に来豊後、4 月 4 日に倪子妃殿下に伴われて東京に帰られるまで師団長官舎に滞在し、その間、邦彦王ならびに倪子妃両殿下と共に長篠古戦場や名古屋煙草専売支局にご見学される等、各地訪問されたこと。**

ここから、1918 年 3 月 1 日から 4 月 3 日の期間は比較的長く豊橋に滞在されていたことが分かった。しかし、行き先について、滞在期間の割には「長篠古戦場」と「名古屋煙草専売局」しか報道されていない。そこで、この期間における良子女王の豊橋での行方が、前述したような「豊橋の学校に通われた」といった情報と関係しているのではないかというのが私見である。しかし、これはあくまでも推測の域であり、今回閲覧した新聞記事も含め、今後さらなる調査が必要である。

最後に、表作成にあたりマイクロフィルムを閲覧させて頂いた豊橋市図書館に謝辞を申し上げる。

参考資料

- 「愛知大学公館 特別展」 東亜同文書院大学記念センター展示パネル
- 「豊橋市史 第3巻」昭和58年発行、豊橋市史編集委員会
- 「豊橋言論史―郷土新聞をめぐる人々」、昭和48年発行、宮脇良一